



令和5年度 先輩職員から のメッセージ



あなたの笑顔で
このまちをつくる



H O N J O C I T Y

Q 私の所属はこんなところ

A 私の所属する道路整備課道路維持係では、本庄市の道路やそれに関する構造物の維持管理を行っています。設計や工事発注などのデスクワークをはじめ、現場での施工管理や作業等、台風や大雨、降雪といった緊急時の対応を行うなど、業務は多岐にわたります。道路は生活の基盤となるため、利用者が安全安心に利用して頂けるよう考えながら日々業務に取り組んでいます。

Q 印象に残っていること

A ゲリラ豪雨による緊急対応をしたことが特に印象に残っています。道路は冠水し、多くの住宅が浸水したため、土のうの配布やポンプによる排水作業を行いました。道路整備課の職員だけでなく、多くの部署から応援に来てもらい対応しました。大雨の中での大変な作業でしたが、終わった後の市民の方からの感謝の言葉はとても印象に残っています。

Q 入庁前後でギャップを感じていること

A 市民の方々との距離が本当に近いということが入庁前後でギャップに感じました。本庄市への入庁前は建設コンサルタント会社で道路の設計業務を行っており、市民の声を聞くということがありませんでした。市民の方からの要望やニーズといったものが直接耳に届くようになり、自分の視野の狭さを痛感することもあります。違う視点からの意見として捉え、勉強にもなっています。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所は様々な人との交流や部署の異動があり、業務は多岐にわたります。そのため大変なこともあります。ほかの仕事では得られない多くの経験を得ることができるのもやりがいのある仕事だと思います。皆さんと一緒に仕事ができる日を心待ちにしています。



加藤 晃人 技師

都市整備部
道路整備課
道路維持係

令和3年度採用
技術職（土木）

Q 私の所属はこんなところ

A 私は保育所で4歳児クラスの担任をしています。毎日、子どもたちと一緒に外で遊んだり、歌を歌ったりしています。また、子どもたちとの直接的な関わりだけではなく、日誌や書類の作成や、運動会や発表会などのいろいろな行事の準備も行っています。日々、子どもたちと関わりながら、子どもたちのより良い成長に繋げるような保育を行うことを意識して仕事をしています。

Q 印象に残っていること

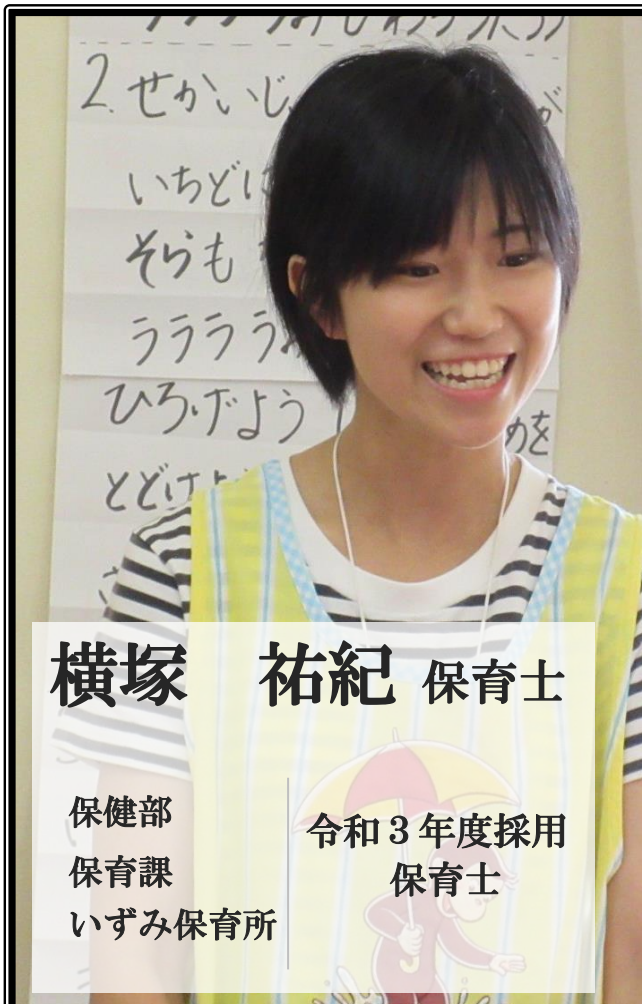
A 保育所では、子どもたちの「はじめて」に立ち会うことがたくさんあります。その中でも、今まで鉄棒の前回りができなかった子が、できるようになるまで毎日諦めずに何度も挑戦し、はじめて成功した時に立ち会えたことが一番印象に残っています。子どもたちが頑張っている姿を見て、保育者としてどのような助言を行えば、新しいことができるようになるのかを考え、日々、子どもたちと関わっています。子どもの成長に立ち会えることは、私自身喜びであり、やりがいを感じます。

Q 入庁前後でギャップを感じていること

A 実際の保育現場は学校では学べないことだらけで、自分自身ギャップを感じました。特に子どもたち一人ひとりに合わせた援助や関わり方を見つけることが難しく、悩むことがありました。その都度、経験豊富な先輩保育士から助言をいただき、成長することができました。

Q 受験生のみなさんへ

A 子どもたちの笑顔はとっても可愛く元気の源になります。また、子どもたちの成長を間近で感じることができ、自分自身も子どもたちと成長ができる素敵な職業です。本庄市は、「安心して子どもを生み育てることができる支援体制づくり」を基本理念に掲げ、子ども・子育て支援に力を入れています。「本庄市の保育士になりたい。」という強い気持ちを持って頑張ってください。



横塚 祐紀 保育士

保健部
保育課
いずみ保育所

令和3年度採用
保育士

Q 私の所属はこんなところ

A 障害福祉課では、障害者手帳に関する業務のほか、障害のある方が地域で自立した生活を送ることができるように様々な支援業務を行っています。私は援護係に所属しており、窓口業務や相談業務を担当しています。保健師として障害のある方が適切な支援を受けることができるよう、日々丁寧な対応を心掛けています。

Q 印象に残っていること

A 保健師として、障害のある方から相談を受ける機会が多くあります。相談の内容はその人によって様々であり、支援の方法や必要とする障害福祉制度も異なります。“その人らしい生活”を大切にしながら、地域の関係機関と連携しながら支援をすることで、その人に合った障害福祉制度の利用につながった時はとても嬉しくやりがいを感じます。

Q 入庁前後でギャップを感じていること

A 想像以上に保健師の業務は多岐にわたっており、様々な部署に保健師が配属されていることが分かりました。市民からの相談以外にも、地域の関係機関や他の自治体と連絡を取り合うことも多く、コミュニケーション能力が大切だと改めて感じました。時には講演会やイベントの設営をすることもあるので、体力も求められる仕事だと思います。

Q 受験生のみなさんへ

A 市役所の業務は多岐にわたっており、部署によって業務内容は様々です。いろいろな経験や知識を積み重ねることで、自身の長所が業務に活かせるようになると思います。皆さんと一緒に本庄市で仕事ができる日を楽しみにしています！

小暮 江里
保健師

福祉部
障害福祉課
援護係

令和3年度採用
保健師

Q 私の所属はこんなところ

A 本庄市には豊かな自然や特色ある歴史、伝統や文化などの観光資源が豊富に存在しており、商工観光課では、それらの魅力を市内外に発信しています。具体的には月に1回公共空間を活用したマーケットの開催や本庄まつりの運営、各種イベント事業の考案や実施、市全体を盛り上げていくための広告物作成などを行っています。

Q 印象に残っていること

A 入庁1年目でまだコロナ禍が収束しない中、観光事業として何か実施したいと思い、本庄市の観光施設で6店舗ほどの小さなマーケットを自身で企画し、実施しました。当日はコロナ禍でかつ小規模だったとは思えぬほどの来場者数でしたが、同時に実施までの調整不足が浮き彫りになり、反省点も多くありました。その反省点を活かし、業務に励むことで2年目には26店舗の大規模なマーケットが開催できたりなど、日々の仕事に大きく影響を与えるきっかけとなりました。

Q 入庁前後でギャップを感じていること

A 入庁前は、市役所の仕事はルーティン業務が多いというイメージでしたが、実際に入庁してみるとクリエイティブさを求められる機会が多くありました。こうしたらもっと良くなるのでは、これをやったら面白いのではということを常に想像しています。先輩職員や上司の方々も、提案したことに柔軟な対応をしてくれるので、若手が思いついた新しいことを実践できるという部分は良い意味でギャップを感じています。

Q 受験生のみなさんへ

A 本庄市に対して、1つでも気になるものを感じたのであれば、ぜひとも試験に挑戦することをおすすめします。本庄市役所で出会った同僚や上司、市民の方々と接する上で得られたものや、業務で学んだ知識は、自分の人生の視野を広げてくれたと実感しています。未来の本庄市役所職員の皆さまで一緒に働けることを心待ちにしています。

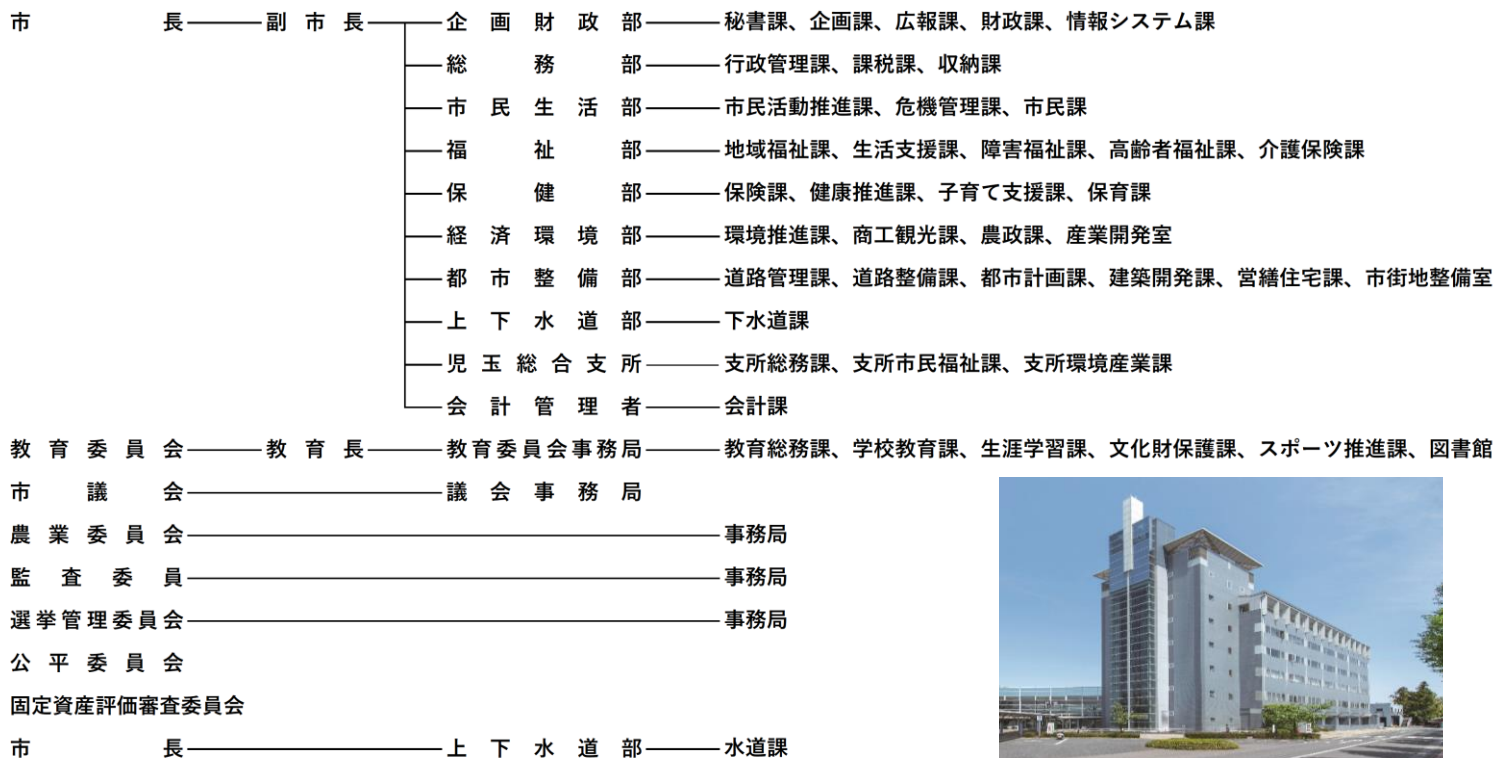
三井 翔太郎
主事

経済環境部
商工観光課
観光振興係

令和3年度採用
一般事務職

本庄市行政組織図

(令和5年4月1日現在)



Q&A

Q 男女別・学歴別の合格人数や割合はあらかじめ決められていますか？

A 決められていません。採用試験で受験者を選考し、採用にふさわしい人物を採用しています。

Q 市役所以外の配属先はどのようなものがありますか。

A 本庁舎以外に、児玉総合支所、はにぼんプラザ、保健センター、図書館、水道庁舎などがあります。

Q どのような休暇制度がありますか。

A 年次有給休暇や忌引、病欠休暇、夏季休暇などの特別休暇があります。また、子育てに関する休暇も充実しています。

Q 受験にあたり、出身地や性別などによる有利・不利はありますか。

A 出身地や性別、学歴などによって有利・不利になることはありません。本庄市外出身の方の受験もお待ちしています。

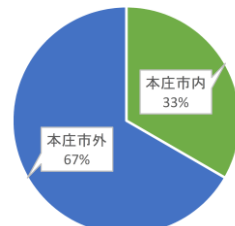
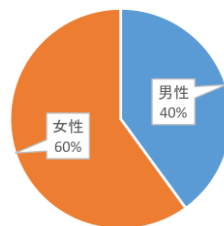
Q 給料以外にどのような手当が支給されますか。

A 支給要件を満たせば、通勤手当、住宅手当、扶養手当、期末勤勉手当などが支給されます。

Q 令和4年度採用試験合格者の男女比と本庄市出身者の割合を教えてください。

【男女比】

【出身地】



Q 人事異動はどのように行われていますか。

A 定期的な人事異動は、原則として4月1日に行われ、異動のサイクルはおおむね4年となっています。また、異動する部署については、年1回行われる異動希望調査での職員の意向も尊重し、適材適所に配属されます。

Q 働き方に関する取組があったら教えてください。

A 朝型勤務(7月から10月まで)や在宅勤務を実施したり、毎週水曜日をノー残業デーとするなど職員の健康保持とワーク・ライフ・バランスの推進を図っています。



本庄市役所 総務部 行政管理課 人材育成厚生係
〒367-8501 本庄市本庄 3-5-3 TEL0495-25-1160
URL <https://www.city.honjo.lg.jp/>